



昨年12月から2カ月間、福岡市科学館で行われた人工星の展示会に参加。前列左が伊藤副社長

で興味をもっていただければと考えています。

— 新型コロナウイルス対策も重要ですね。

伊藤 当社はコロナ禍が表面化する前から書類の電子化や製作面のデータ管理・共有化を図ってまいりましたので、昨年4月最初の緊急事態宣言が発令され、リモートワークに移行した時もスムーズに対応できました。コロナを予測していたわけではなかったのですが、結果的にデジタルトランスフォーメーションの導入が功を奏し、さまざまな場面でオンライン化を促進できました。特に、ビジネス

チャットを利用したタスク管理や取引先・顧客とのオンラインミーティング、社内でも部署間

のウェブミーティングが活発化。作業効率も向上しており、良い成果が出ています。

宇宙産業ビジネスを主要分野に位置付け

— 宇宙産業ビジネスへの参画も企業成長の大きな柱となりそうですね。

ダー衛星の開発・運用は世界でも数社しか達成できていないんです。e-SETTに加盟した当時はこんなに早く結果が出るとは思いませんでした。QPS

伊藤 筑後地区の中小製造メーカーを中心に小型人工衛星の開発に挑戦するグループ「e-SETT（円陣スペースエンジン・アリンダチーム）」（加盟企業11社）に参画し、今年8月で10周年を迎えます。2017年10月から九州・福岡発の宇宙ベンチャー「株QPS研究所」（福岡市、大西俊輔社長）さんが取り組む小型SAR（合成開口レーダー）衛星開発にも携わらせていただき、構造全体やアンテナ展開などの宇宙空間での機械的な動作部分の設計・組立を担当。19年12月に1号機「イザナギ」、今年1月には2号機「イザナミ」が続けて打ち上げ成功した時の興奮は今も鮮明に覚えています。

以降、急激に進展しました。今や、当社にとって宇宙産業は将来の企業成長を担う主要分野の1つとして大きな期待を寄せています。

— スケールが大きい市場になりますね。

伊藤 QPS研究所さんから設計・組立担当としてご信頼をいただいていることが大きな自信となっています。このプロジェクトは2025年までに計36機の小型SAR衛星を打ち上げて地球のほぼ全体をカバーし、夜間や悪天候でも地表を観測できる最新データを平均10分ごとに更新することを目指しています。ご縁をいただいたこ

とに感謝し、我々も品質と精度向上に努めていきます。

— 今後の事業展開について。

伊藤 当社の強みである搬送システムの設計・施工・製造、アフターサービスを自社一貫体制で行い、各部門が連携・協調し工期短縮の実現を目指す生産体制「コンカレットエンジニアリング」を徹底し、差別化を図ります。今年度から3カ年中期経営計画を策定しており、今期は売上高7億円までの回復を目指し、2023年度には1億円を目標にしています。

オガワ機工(株)

【本社】	〒839-0804 久留米市宮ノ陣町若松1-20			
【TEL】	0942-31-1378	【FAX】	0942-31-1380	
【設立】	1976(昭和51)年5月	【創業】	1976(昭和51)年5月	
【資本金】	2,000万円			
【資本金】	福岡善導寺 北九州久留米 他			
【役員】	(会)伊藤博介 (社)伊藤秀典 (副)伊藤慎二			
【事業】	コンペヤ・省力機器の製造			
【仕入先】	ユアサ商事 日本機材 ダイドー オークラ輸送機 他			
【販売先】	ブリヂストン プリヂストンプラントエンジニアリング 椿本興業			
【取扱構成】	オカムラ 他			
【出先】	コンペヤ30% 省力機器50% 他20%			
	(工場)本社同所			
【業績】	売上高(千円)	経常利益(千円)	配当(%)	従業員
2018年2月	913,000	31,339	-	25
2019年2月	1,001,000	28,454	-	26
2020年2月	1,060,000	49,640	-	28
2021年2月	452,911	△89,529	-	29

※ 弊誌別冊「福岡の会社情報」データベースより